




令和5年6月5日(月)
府中市立住吉小学校
拠点校校長 木下 和紀

日に日に暑さを感じる季節になってきました。この季節は、いつも以上に体調管理や気持ちのコントロールが難しくなります。自分で自分の体調を感じたり、言葉にして伝えたりすることが苦手である子供がいるので、様子を注意深く見守り、家庭や学級との連携を密にして指導していきたいと思ひます。


「ひばり」の指導が始まって約1か月余りが過ぎました。新しいグループの友達や教員にだいぶ慣れてきた頃です。自分から友達に声をかけて一緒に遊んだり、助けてほしいときに教員に相談したりするなど、人とのかかわりが増えてきました。その中で楽しい経験だけではなく、時にはうまくいかないこともあります。それは上手な人とのかかわり方法を学ぶためのチャンスですので、丁寧に指導していきます。

～6・7月の予定～

6月	7月
6月 21日(水) 指導なし 6月 27日(火) 指導なし 	7月 12日(水) 1学期指導終了 7月 13日(木) 南町小 14日(金) 南町小 18日(火) 矢崎小 19日(水) 矢崎小 AM・住吉小 PM ※別紙面談日程調査票を提出してください。 <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: 2em;">}</div> 保護者面談

～6・7月の学習～ 以下の中から児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

		基礎的指導	発展的指導
6月の学習内容	グループ学習	【発達段階を追った指導】 思ったことを言おう「ピクチャークイズ」 気持ちを表す言葉 気持ちを表現しよう 「黒ひげ危機一発」「輪っか取りゲーム」 身体の動き「忍者修行」 【即応的指導】 身だしなみをととのえよう	【即応的指導】 3人以上での相談の仕方 【発達段階を追った指導】 身体の動き、柔軟な考え 「だるまさんがころんだ」 相談「文字集め」「だるまさんが運んだ」
	個別学習	・個に応じた指導	・個に応じた指導 目標決めは必ず行う

		基礎的指導	発展的指導
7月の学習内容	グループ学習	【発達段階を追った指導】 振り返り「1学期のまとめ」 身体の動き「いろはにこんぺいとう」 【即応的指導】 お手伝いをしよう 発表の仕方	【発達段階を追った指導】 困ったときの対処法の実践 振り返り「1学期のまとめ」 【即応的指導】 困ったときの対処法 お手伝いを進んでしよう 
	個別学習	・個に応じた指導	・個に応じた指導

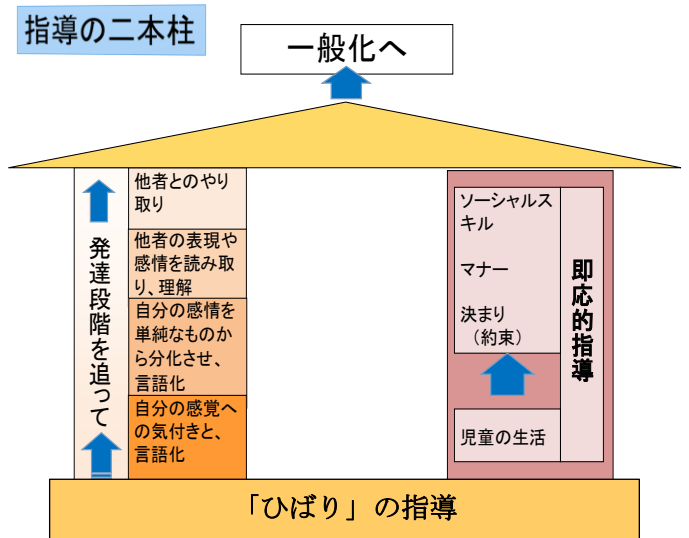
※「発達段階を追った指導」と「即応的指導」の意味は裏面にあります。

「ひばり」の指導の二本柱 「発達段階を追った指導」と「即応的指導」

「ひばり」では、「発達段階を追って積み重ねていく指導（発達段階を追った指導）」と「即応的指導」を「二本柱」として指導を組んでいます。

「発達段階を追って」とは、情緒の発達を段階を追って育てていくものです。右の図のように下から順に積み上げていくことで他者とのやりとりができるようになります。「即応的指導」は日々の生活に適應していくために実際の困難さやトラブルに対してタイムリーに指導をするものです。

「即応的指導」は速効性がある指導ですが、指導されたそのことにしか改善が見られません。状況の判断が難しく、応用を効かせることが苦手という特性をもった子供たちが、自分の力として身に付け発揮するには「発達段階を追って」との両輪が必要であると考えています。



～ひばりの指導から～



基礎的指導 「すなお」



1学期の修行として「すなお」が忍者から届きました。「すなお」とは、「お家の人や先生が言ったことをすぐにやってみること」と教えています。自分のやり方にこだわってしまったり、新しいことが苦手だったりして、うまく取り組めない傾向がある子がいますが、そのときに忍者の修行を思い出させています。「すなおにやってみたらできた」「すなおにやってみたら楽しかった」という経験を積み重ねることで、人の助言を受け入れるといいことがあると感じられるようになってほしいと思っています。

ただ、忍者の修行だからと言って無理やりさせることは禁物です。「すなお」という言葉が嫌いになってしまう子がいるからです。お家の人や先生が言ったことをすぐにやったときに、当たり前と思わずに「すなおだね。」と褒めて、やる気を出させる言葉として、ぜひ使ってください。

発展的指導 「相談の仕方」



決めるというときに、自分の思いだけで決めてしまう子、自分の意見がもてない子、自分の思いを伝えようとするとどうも伝えられずにもやもやしてしまう子がいます。そこで「ひばり」では相談するときのコツを教えています。それは、自分の思いを伝えた後に「？」を付ける言い方です。「？」を付けることによって相手に意見を聞いたり、同意を求めたりすることになります。最初は「〇〇でいい？」「〇〇はどう？」という話型を使ってやりとりさせます。聞かれた人は反応しなくてはいけません。「いいよ。」「ぼくは〇〇がいいけどどう？」…こうすることで、会話がうまく、相談が成立していきます。

実際にゲームをしながら練習すると、言葉のやりとりや譲り合いがうまくできて気持ちよく物事が決まる経験ができました。上級者には、意見を言うときに理由も付けるともっと分かりあえること、同意も「いいよ」以外に「なるほど」「たしかに」などの言葉を使うと更に会話が弾むことを教えました。これからも小集団の中でたくさん練習させていきます。